

第29回全国在日外国人教育研究集会・兵庫大会にご参加を!

2008年8月22日(金)～24日(日)多文化共生社会にむけて、学校や地域での教育実践を交流しよう

第29回全国在日外国人教育研究集会(兵庫大会)

4・24 阪神教育闘争六〇周年、ブラジル移民一〇〇周年

私たちが全外教は、一九七九年の第一回大会以来、在日コリアンの子どもたちへの差別と排外意識を克服するとりくみを出発点にして、在日外国人と日本人の子どもたちの自立と連帯の場づくりを積極的に保障する運動や実践をすすめてきました。

二〇〇八年は4・24阪神教育闘争六〇周年、ブラジル移民一〇〇周年にあたります。この年に全外教研究集会を兵庫で開催することになりました。

4・24は、植民地時代に奪われていた民族の尊厳、言葉や歴史を二度と奪われたくないという闘いであり、差別の厳しい日本社会の中で、民族的アイデンティティを確かなものにする教育を守ろうとした闘いでもありました。一九九〇年代以降外国人が急増し、外国人登録者数は、今や二〇八万人を越えています。これまでも学習指導要領は「自国中心主義」の教育内容を定めてきましたが、改定教育基本法によって、この度合いはますます強められようとしている今、4・24の歴史的意義を受けとめ、拡げていく必要があるのではないのでしょうか。

かつてこの兵庫・神戸を経てブラジル等、南米の国々へ旅立っていった多くの人々の子孫が渡日し生活するようになって、日本各地にブラジル人学校・ペルー人学校等が次々と生まれてきました。世界人権宣言や子どもの権利条約によれば、子どもたちは「その能力を最大限に発揮することのできる教育を受ける権利」を保障されています。しかしながら、新たに渡日してきて日本の学校に通う外国人の子どもたちは、学習言語の習得が毎日の授業に追いつかず、「日本語が身につくまでは教科の勉強はできなくても仕方がない」と半ば放置されているのが現状です。

全外教は、在日外国人の子ども一人ひとりの現状に向きあった教育実践を通して、日本社会の閉鎖性を問い続けてきました。すべての子どもたちが名前やアイデンティティを保障され、その力を最大限に発揮することができる学校教育をつくりだすとりくみを深めなければなりません。

阪神・淡路大震災以後の兵庫大会では、全国各地の皆さんから温かいご支援をいただきました。地元実行委員会はお礼の気持ちを込めつつ、ともに多文化共生社会にむけて、豊かな教育環境・地域づくりを、さらにすすめていきたいと思えます。

多くの皆さんの大会への参加を、心からお待ちしております。

- 日程・内容 2008年
- 8月22日(金)
フィールドワーク
阪神教育闘争の地を訪ねて
ブラジル移民の足跡を訪ねて
近代の朝鮮人強制連行・兵庫
マダン劇「4・24の風」
(劇団タルオルム)鑑賞
- 8月23日(土)
開会行事と地元特別報告
神戸市勤労会館大ホール
(神戸市中央区雲井通5-1-2)
全国交流会
神戸市勤労会館多目的ホール
- 8月24日(日)
分科会と閉会行事
神戸市立科学技術高等学校
(神戸市中央区脇浜1-4-70)
- 8月22日(金)～23日(土)
全国在日外国人生徒交流会
神戸市立自然の家(摩耶施設)
(神戸市灘区六甲山町中一里山1-1)
参加資料代
4,500円
(フィールドワーク、全国交流会参加費は別途)
申し込み
「開催要項」の申込用紙にて



主催：全国在日外国人教育研究協議会、第29回全国在日外国人教育研究集会兵庫大会地元実行委員会

後援：兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会 他(申請中)

連絡先：兵庫県在日外国人教育研究協議会(略称「兵庫県外教」) 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 IHDビル2階 ひょうご国際プラザ・活動支援室内 TEL:078-231-0290, FAX:078-230-3080